

日本の社会を変える
大きなうねりを起こすには、
あなたの参加が必要です！

現在、メンバーは528名！

Goodbye Perio プロジェクト

このプロジェクトは、歯科衛生士の力で日本から歯周病をなくすことを目指します。これは予防のプロである歯科衛生士の使命であり、私たちにしかできない社会貢献です。

参加メンバーには

提案用のフロス(ミニサイズ)を必要な分だけ無償提供

一般の人にフロスの必要性がバツと伝わる、写真や動画などのツールを無償提供

メンバー同士が自由に意見交換できる場を提供

あなたが今すぐ行動を起こせるよう、タフトくらぶは全面的にサポートします！

メンバー登録は
同封のお申し込み用紙 or HPから
<http://perio.tuftclub.jp/>

メンバーの取り組みは、
facebook ファンページでもご紹介しています！

Goodbye Perio  で検索を！

私の職は、家族や大切な人の幸せにつながっている！

さがえ 口 寒河江 志津子さん

ブースに来てくれた方にお話を聞くと、残念ながら歯科医院に通っていないという方がほとんどでした。でもお口のなかにはすぐ興味を持っているんです。たくさん質問をしてくれたり、フロスの練習に熱心だったり。子どもと一緒に来てくれた友人たちも「口のなかの細菌、あれすごいねー！見られてよかつたよ」と喜んでいました。このイベントが多くの方の歯を守るきっかけになれました。このイベントが多くの家族の活動が、人々の幸せに貢献できると実感した一日でした。



“もう一回、もう一回!!、子どもだってがんばれるんです

安達 沙緒里さん



口腔内のことを探りたくてブースに集まる人の多さに驚きました。みんな予防方法を知らないだけで、興味を持つていたんですね。今までフロスをいかに指導してこなったかを反省しました。それから、お子さんの飲み込みの早さにはびっくり！はじめは「見よう見まねでやつてくれたらいいや」と思っていましたが、意味をちゃんと理解して練習してくれました。上手にできるまで一生懸命に「もう一回、もう一回!!」と。明日からは、もっと積極的に歯周病予防を伝えています。



私たちの知識と技術は、日本中から必要とされている！

村越 初美さん

真剣な表情でフロスに挑戦するお子さん。後ろでうれしそうに見守るご両親。その姿を見て、ただ「フロスをしてください」と言うだけではダメだったんだと気づかされました。フロスの必要性を説明し、体感してもらい、正しい使い方を教える。そうしてはじめて「これはやなきや」と習慣にできるんですね。それでも見方を変えれば、私たちの知識と技術は日本中に必要とされているんですね！歯科衛生士になつてよかつたと心から思います。

今回、お口の健康にフロスが必要だと実感した方は400人以上！たくさんの親子に歯周病予防を広められました。

メンバーたちは、「りんくあいらんど」で感じたことをヒントに、大きく一步踏み出しています！

歯科衛生士が予防を伝えることは、とても意味のあることだと思います。数年前から歯科疾患予防教育のボランティアに参加していますが、私以外のメンバーはみんな歯科医師。歯科衛生士はどうしてもサポート役として見られています。しかし今回のイベントでは、私たちが予防で社会に貢献していることをしっかりとアピールできました。さらに、資料や

指導内容なども歯科衛生士の視点で「から創りあげたもの。そのため、来場してくださった方への指導もスムーズにでき、とても思い入れの強い活動になりました。正しい知識と予防方法を知れば、歯周病を防げる可能性が高くなる。そのことを一人でも多くの方に知らせなければ改めて思いますね。そして自分の体にもっと興味を持ち、健康でいられる方を増やしていきたいです。

植松 榮美さん



患者さんの健康を守るために、自分ができることはもっとある！

森島 麻美さん

印象に残っているのは、親子3人で来てくれた家族です。お子さんの細菌を見て、「私たちのも見てみたい」とご両親の細菌もチェックしました。お母さんは毎日フロスをしているのですが、通してみるとブラークがごつそり！ポケットのなかまでは入れていなかつたみたいです。縁下がごつそり！ポケットのなかまでは入れていなかつたみたいです。縁下のブラークのことを伝えると、「ずっと歯医者さんに通っているのに、初めて教えてもらつたわ」と話してくれました。



一人でも多くの人に、歯周病予防を伝えられるのは私たちだけ！



Goodbye Perioの活動は、人々の幸せにつながっていることを実感!

Goodbye Perioプロジェクト
活動レポート

歯周病罹患率80%を
歯科衛生士の私たちが
変えていく!

Goodbye
Perio
Project

歯科衛生士は、社会の役に立てる存在なんです!



お母さんが説明を受けている間、
お子さんもフロスに挑戦!
人工ブラークをぬった顎模型で
一生懸命練習しました。



歯周病のメカニズムやケアの方法を伝えました。
お母さんからは「どうやって使うの?」
「何歳からフロスを始めたらいいの?」
など質問が止まりません。



まずは位相差顕微鏡で
お口のなかの細菌をチェック!
子どもたちは、「うわ、動いてる!」と画面にくぎづけ。



12名のGoodbye Perio
メンバーが参加しました

青木 恵美子さん
安達 沙緒里さん
植松 裕美さん
内野 真美さん
岡野 恵理子さん
郡司 友香さん
寒河江 志津子さん
白井 陽子さん
成瀬 千絵美さん
村井 沙恵里さん
村越 初美さん
森島 麻美さん

6月24日、横浜赤レンガ倉庫で行なわれた「りんくあいらんど」。

『クローズドな子育てを、オープンな子育てに!』というコンセプトで、
子育ての輪を広げていくイベントです。

総来場者数は13,000人。英会話教材やおもちゃなどの企業と並んで、
Goodbye Perioプロジェクトが出展しました。

今まででは、歯周病予防の大切さを身近な人に伝えてきたメンバーたち。

「初めて出会う人に、うまく伝えられるかな……」と緊張が走ります。

しかし開場してすぐ、Goodbye Perioのブースは満員に!

お母さんの子どもの口腔内に対する関心は想像以上に高く、

空がオレンジ色に染まるまで、訪れる親子が途切れることはありませんでした。

詳しくは次ページへ!

医院の外に出て、一人の歯科衛生士として活動したメンバーたち。
彼女たちが「りんくあいらんど」で感じたことは……?